

泌尿器科学

【目的】

泌尿器科学は、尿路と精路の疾患を診断し、治療する専門分野の1つである。なかでも、前立腺肥大症、前立腺癌、膀胱癌、腎細胞癌、尿失禁は高齢化社会において増加しており、さらに近年の内視鏡手術・低侵襲手術の進歩は著しく、臨床医は正しい泌尿器科学の知識を得る必要がある。

本実習によって、泌尿器科疾患への理解を深め、臨床医としての全人的医療をめざす。

【実習の実際】

到達目標

外来実習：外来患者診療を適切に実施できる能力を養う。

- 1) 適切な問診がとれる能力と共に、患者心理を理解して問診する態度を身につける。
- 2) 泌尿器科的身体所見の診察法を修得する。
- 3) 問診・身体所見に応じて、検査計画を立てる能力を修得する。
- 4) 泌尿器科外来検査法について、適応や検査法の実際を理解する。

病棟実習：主治医団と行動を共にし、入院患者に対する全身及び局所管理が適切に行えるように、基礎知識と技術を養う。

- 1) 個々の患者に対して、適切な治療計画を立案する。
- 2) 担当患者に対して入院の原因となった病態の医学的な理解を深め、患者のQOLを考慮した全人的なアプローチを学ぶ。
- 3) 病棟におけるチーム医療の一員として医師のなすべき役割を理解する。

手術室実習：手術手技の基本を学び、泌尿器科疾患の手技について理解する。

- 1) 一般的な外科手術手技のみではなく、泌尿器科に特有の内視鏡手術を理解する。
- 2) 主治医団と共に手洗いをし、手術を間近に見ることで泌尿器科疾患の病態に関する理解を深める。
- 3) 術前・術後の患者管理について修得する。

週間スケジュール (学内)

研修希望者に対する具体的な説明会を予定しているが、週間スケジュールは下記のごとくである。

月	手術	手術
火	回診・病棟	外来検査
水	手術	手術
木	回診・病棟	外来検査、尿失禁外来、男性更年期・不妊外来
金	外来診察	入院患者検査

担当教官

松原 昭郎	教授	
亭島 淳	准教授	
林哲太郎	助教	井上省吾 診療講師

神明 俊輔 助教	稗田 圭介 助教
上野 剛志 医科診療医	福岡憲一郎 医科診療医
栗村 嘉昌 医科診療医	西田 健介 医科診療医

施設の選択

研修は該当する期間に大学と学外施設において行うが、個別に希望を聴取の上、日程を調整、確定する。

学外の教育研修施設と指導責任医師名

- | | |
|---------------|---------|
| 1) 広島市立安佐市民病院 | 三田耕司 部長 |
| 2) J R広島鉄道病院 | 橋本邦宏 部長 |
| 3) 広島西医療センター | 奥谷卓也 院長 |
| 4) 呉医療センター | 繁田正信 部長 |

研修内容

- 1) 研修は広島大学および教育研修施設において研修する。
- 2) 研修を受ける施設は原則として、①2週間のうち1週間を大学病院、1週間を教育研修施設、もしくは、②2週間続けて教育研修施設、のいずれかとする。

評価

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
適切な問診がとれる能力と共に、患者心理を理解して問診する態度を身につける。	10点
泌尿器科的身体所見の診察法を修得する。	10点
問診・身体所見に応じて、検査計画の立案について理解する。	10点
泌尿器科外来検査法について、適応や検査法の実際を理解する。	10点
治療計画の立案について理解する。	10点
治療計画の立案における QOL の考慮について理解する。	10点
病棟におけるチーム医療の一員として医師のなすべき役割を理解する。	10点
泌尿器科に特有の手術について理解する。	20点
術前術後の管理について理解する。	10点

連絡先：腎泌尿器科学 松原昭郎

内線：5242

E-mail：matsua@hiroshima-u.ac.jp